

感染症の予防のための情報提供について

病 名	細菌性赤痢																												
年齢及び性別	22歳 ・ 女性																												
職 業	大学生																												
住 所	名張市																												
発病年月日	平成31年 1月26日																												
診断年月日	平成31年 2月 2日																												
<p>【患者発生の経過】</p> <p>平成31年1月23日～1月27日までハワイに滞在。</p> <p>1月26日 微熱、水様性下痢の症状がみられた。</p> <p>27日 水様性下痢、腹痛の症状がみられた。</p> <p>28日 症状が継続した。</p> <p>30日 徐々に症状の軽減がみられたが、名張市内の医療機関を受診した。</p> <p>2月 2日 1月30日の便検査の結果から細菌性赤痢と診断された。</p> <p>4日現在、症状は改善しています。</p>																													
<p>【防疫処置】</p> <p>接触者の健康状況調査、検便の実施及び消毒の指導（伊賀保健所）</p>																													
<p>【県内の細菌性赤痢患者発生状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年</th> <th>平成28年</th> <th>平成29年</th> <th>平成30年</th> <th>※平成31年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患 者</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保菌者</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計(感染者)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成31年1月1日～平成31年2月4日現在まで本件を含む</p>							平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	※平成31年	患 者	0	1	0	2	1	保菌者	0	0	0	1	0	計(感染者)	0	1	0	3	1
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	※平成31年																								
患 者	0	1	0	2	1																								
保菌者	0	0	0	1	0																								
計(感染者)	0	1	0	3	1																								

【自分でできる予防の対策】

細菌性赤痢は、赤痢菌に汚染された食物・水・手指等を通じて口から感染（経口感染）しますので、以下のことに注意しましょう。

- ① 食前・用便後には、石けんを用いて手を洗いましょう。
- ② 冷凍食品等は、食材の中まで火がとおるよう十分加熱しましょう。
- ③ 海外で、生もの・生水・氷を口にしないよう注意しましょう。
- ④ 海外旅行中や帰国後に腹痛・下痢等の症状があった場合は、速やかに検疫所に申し出るか、医療機関を受診しましょう。